

雪国札幌を考える【雪】



実施期間

【1 / 20～2 / 28】

ゆっぽろシート

【雪】キャラクター「ゆっぽろ」

札幌市立琴似中央小学校

「さっぽろっ子雪ウイーク」における取組

ねらい

雪の特性を活用した遊びや運動などを生活科や体育、特別活動などの教科・領域を通して体験することで、雪に触れる楽しさやよさを実感する。

取組内容

○生活科（幼保小連携）…地域の園児と1年生との交流

1年生が地域の園児との雪遊びを通じた交流を考え、実際に行うことで、雪と触れ合う楽しさや交流するよさを味わう。

○体育…スキー学習【全校】

雪の特性を活用した冬のスポーツとして、滑走する楽しさや体力づくりなどを目的に取り組む。

○総合的な学習の時間…アイスクャンドルづくり（4年）

理科の学習「水のすがたと温度」で学んだ性質を活用し、アイスクャンドルを作り、校舎周辺に飾る。



成果

- ・「園児たちと『雪』を使って楽しもう」という目的意識をもって活動に取り組んだことで、雪の特性（造形）や協働遊びに浸ることができた。
- ・室内遊びが多く、運動不足気味になる冬場ではあるが、グラウンドの雪山やテイネスキー場を使って全力で体を動かすよさや気持ちよさを実感していた。
- ・氷点下の気温が起こす自然現象への実感や出来上がった作品の美しさを味わうことができた。

次年度の取組に向けて

- ・雪の状況に応じた遊びの幅を拡充したり、遊びのルールを工夫したりすることで、よりお互いに充実した遊びの場になることに気付かせていきたい。
- ・グラウンドに造成した雪山を活用した遊びだけでなく、平地を利用した遊びについても推奨していくとともに、雪や氷の危険性についての指導を徹底し、安全に楽しく遊ぶ意識を醸成していきたい。